

すぎなみ大人“熟”してる？

Jukuseru? TIMES'13

平成25年6月8日発行

発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.2



「土曜の朝は、哲学しよう！」スタート

5月25日

対話を通して、自分の根拠を改めて見つめ直す

「哲学って、するもの？」こんな疑問からはじまりそうな、今回の講座。いよいよ土曜コースが開講。抽選で“見事に”当選された参加者の方36名が集まった。

哲学というと、ソクラテスだ、ニーチェだと、世界・人生などの根本原理を追求する、こむずかしい学問・・・というイメージだが(少なくとも筆者はそう)、この講座は、そこを詳しく学ぶものではない。広石さん曰く、「自分らしさや自分の考えって？これは、他の人の話を聞いて初めて発見できるものです。他の人と出会って、えっ？と感ずることを話し合う事で、自分らしさを発見していく。このプロセスが『哲学する』ことであり、『哲学する対話』であるわけです」。

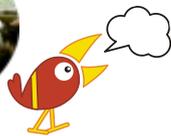
哲学する対話がただの話合いにならないためには、お題(「問い」)が大切だ。普段少し疑問に思っていることなどを「問い」に定め、違いを考えながら掘り下げていくのである。後半はこの対話を経験。グループに分かれて、各自の考えを対話シートに書き込み、発表しながら対話を行ってみた。(「問い」は、よい社会とは？よい生き方とは？)

参加者の感想は、一部下記に掲載したが、そのプロセスの面白さ、楽しさを感じ取ってもらえたようだ。この講座には、正解はない。あるのは、固定化している自分の考えを揺り動かす出会いと対話である！そしてそれが、生きていくヒントや軸になっていくのだ。

「違い」や「違和感」に敏感になること。さらに、その違いを受け入れて対話する勇気を育てていこう。その先にはきっと新しい自分や発見があるはず。さあ、半年の講座がスタート！（記事：湊）



自己紹介タイム



→ 問いの答えを、シートに記入し、発表し合う



対話を

やってみよう

★対話シートを使って・・・

- ① 問いに対する自分の考え
↓
- ② ①の考えはどんな経験から生まれてる？
↓
- ③ その問いに対する自分なりの定義は？
(その定義に対して、良い！違和感あり！のコメントをもらう)
↓
- ④ 再度定義をし直す



●普段聞き流していることを、じっくり考えられてよかった。もやもやの残る感じがおもしろい。●定義は似ていても、中身はそれぞれで、お互いの真意を理解する営みが、実に哲学的だった。紙にペンで書いて見せ合うのは、わかりやすかった。●定義をするというのは、非常に難しく、奥の深いものだと感じた。●他の人の意見を聞くことによって、自分の考えていることがはっきりしてきた。●それぞれ考えている事が違うことはもちろんだが、自分の表現力が乏しいことを改めて思った。刺激になった。●答えがないところに答えるところが、面白い！&難しい。●人それぞれ違う事が認識できた。違いを口にするのは、本当に勇気が必要である。●人と対話する楽しさを体感した。●普段使わない頭を使った。●いろいろな経験や、環境にいる方の意見が聞けて、自分の考えが深まった。●2時間半があつという間だった。自分の考えを変えるきっかけになると思った。●広石さんの話し方が早口すぎて、よく聞き取れなかった。→はい！広石さん、ヨロシクお願いします。(アンケートより抜粋/回答)

参加者の声だ！全員載せられずにすまん！



◆すぎなみ大人“熟”してる？の発行にあたって◆

この新聞は事務局スタッフの独断と偏見と事実に基づき作成しております。